

ロウバイ (ロウバイ科)

1. **バラ科の梅の仲間ではない**。落葉低木
2. 1月～2月にかけて黄色い花をつける。(花の少ない季節に咲くので目立つ。)
3. 香りが強い。
4. ソシンロウバイ、マンゲツロウバイ、トウロウバイなどの栽培品種がある。
5. ロウバイの基本種は、花の中心部は暗紫色で、周囲が黄色い。
6. 種子にはカリカンチンを含み有毒である。
7. 中国原産で17世紀に日本に渡来した。
8. 蠟細工のような梅に似た花から名前がついたとされる。



花



果実



葉

マンサク (マンサク科)

1. 落葉小高木
2. 花木としても栽培されるが、各地の山林に自生する。
3. 葉は互生。楕円形で波状の鋸歯がある。
4. 2～3月に開花。萼は赤褐色か緑色。
5. 花弁は黄色で、4枚あり、1.5cmほどの細長いヒモ状になる。
6. 名前の語源は早春に咲くことから「まず咲く」「まんずさく」が東北地方で訛ったものと言われている。
7. 亜種としてオオバマンサク、マルバマンサク、ウラジロマンサク、アカバナマンサクがある。



花



葉



果実